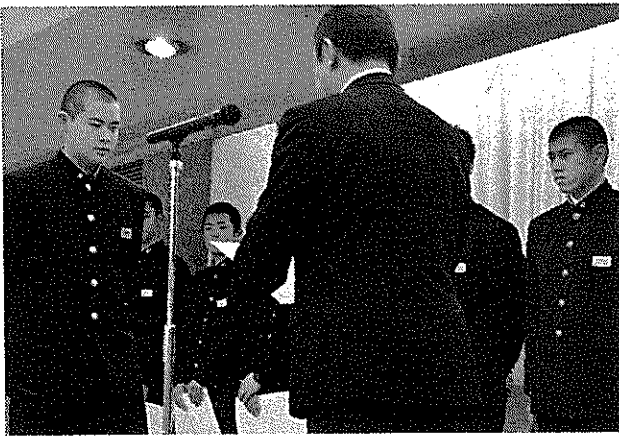


北東北制覇の栄光残し

リトル
シニア能代 6期生11人が卒業

少年硬式野球のリトルシニア能代の第6期生修了式は先月29日、能代市柳町のプラザ都で行われ、チームを支えてきた中学3年生11人に修了証が手渡された。

リトルシニア能代は、2年までの12人が練習に



引退する中学3年生に修了証が手渡された修了式(能代市柳町のプラザ都で)

励んでいる。

修了式には、選手や大沢勉監督、保護者ら52人が出席。市野球協会の後藤健会長が3年生1人ひとりに修了証を手渡した後、「それぞれ入団時期は違うが、リトルシニア能代の一員として頑張ってくれた。高校野球でも存分に活躍してほしい」と激励した。

大沢監督は、昨秋のミズノ旗争奪北東北大会優勝などを振り返りながら、「入ったころはみんな小さかったが、3年たつて心も体も頼もしくなった。勝つことの楽しさも難しさも味わってきた。これからも、いつも応援している」と語り掛けた。

この後、修了生を代表し前主将の三嶋仁智君(能代一中)が「目標だった全国大会出場はかなわなかったが、リトルシ

ニアに入ってみんなで戦った3年間は最高の思い出になった。それぞれ別々の高校に進むことになるが、ここで深めた絆は切れることはない。応援してくれた家族には、高校で最高の恩返しをしたい」と誓った。

新チーム主将の金野蓮さん(能代南中2年)は「12人の少ないチームに

なつたけれど、3年生に教わったことを思い出して練習している。一緒に野球ができたことはずっと忘れない」と述べ、先輩の門出を祝った。